

環境  
アセスメント

風力



# 風力発電のための 環境アセスメント

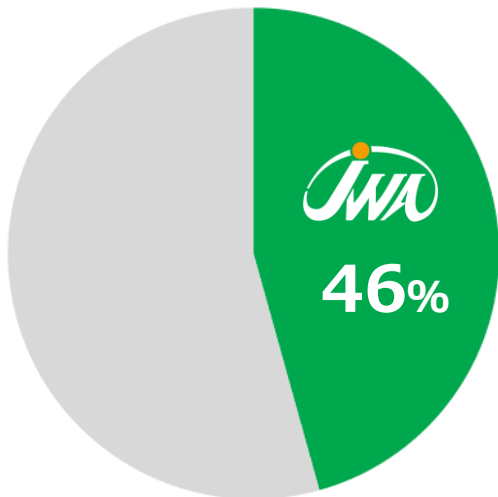
事業計画の立案段階における環境リスクの把握から、  
環境の調査・予測・評価まで行います。

日本気象協会は、環境アセスメントのプロフェッショナルとして、  
風力発電事業を環境の側面からコンサルティングします。

## 風力発電の環境アセスメント シェアNo.1

日本気象協会は、全国30道県で風力発電の環境アセスメントを担い、国内シェアは46%※を有します。このシェアを支えるのは、100名を超える専門技術者と、1960年代から蓄積してきた環境調査と環境アセスメントのノウハウです。この技術を生かし、陸上・洋上風力発電の環境アセスメント事業を進め、環境にやさしい風力発電の実現を目指します。

※日本気象協会調べ（2019年12月現在）



▲風力発電の環境アセスメント国内シェア



## 事業計画立案段階での 無償コンサルティング

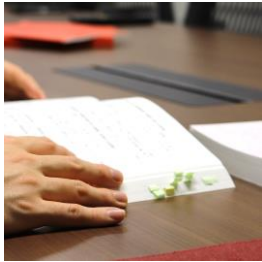
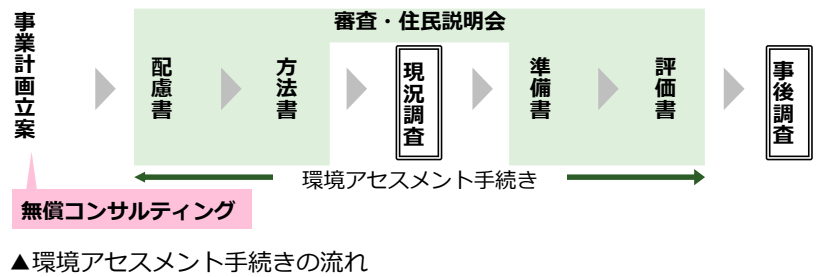
風力発電の事業計画立案段階において、環境側面からの無償コンサルティングを実施しています。環境リスクの低減や効率的なアセスメントの実現のために、以下のコンサルティングサービスを行います。

- ・計画地周辺の環境リスクの情報の収集
- ・地域特性を考慮した環境側面からの事業計画への提案
- ・事業特性に合わせた効率的なアセスメント手続きの提案



# 環境アセスメント手続き

事業計画立案段階の無償コンサルティングに始まり、事業計画に基づく環境アセスメント図書作成、現況調査、審査会などの環境アセスメント手続きから、その後の事後調査まで、ワンストップでサポートします。



## 環境アセスメント図書作成

環境アセスメント手続きで必要となる図書（配慮書・方法書・準備書・評価書等）の作成、縦覧等の手続きを行います。



## 現況調査と予測・評価

騒音・水質・動植物等の現況調査を行い、その結果をもとに影響の予測および評価を実施します。事業規模や立地により、調査内容を提案・相談して進めます。風力発電所の建設開始～稼働後も、必要に応じて事後調査を実施します。



## 国・自治体等の審査会 住民説明会

より良い事業を作り上げるために、専門家や地域住民、一般の方々等への意見聴取や説明会を行います。審査会や住民説明会では、現況調査やその予測・評価の結果、環境を保全するための対応策を説明し、意見を集約して合意形成を進めます。

## バードストライク調査

風力発電で課題となっているバードストライクは、これまで、人が目視で痕跡の確認をすることで実態を把握していました。日本気象協会は、バードストライク検知システムを開発し、自動監視を実現しました。

※「平成28年度～平成29年度成果報告書 風力発電等導入支援事業 環境アセスメント調査早期実施実証事業 環境アセスメント迅速化研究開発事業（既設風力発電施設等における環境影響実態把握1）」（2018年）



▲バードストライクの検知例※



〒170-6055  
東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 55F  
事業本部 環境・エネルギー事業部

Tel: 03-5958-8142 Mail: ke-eigyo\_kankyo@jwa.or.jp